

# 4月26日は 子どもまつり・ 子どもつり大会

都立水元公園

(雨天中止)

車での来場はご遠慮ください。公共交通機関をご利用ください。 **大道芸もやってくる**

## 子どもまつり(中央広場)

レッツ 子どもまつり 遊べ! 笑え! 楽しめ!

午前9時30分～午後3時

### 29の体験コーナー

竹細工、スポーツチャンバラ、バルーンアート、ポニー乗馬、凧作り、わんぱくずもう、冒険ランド他



### 中央ステージ

葛飾吹奏楽団による演奏、小谷野太鼓による和太鼓、保田しおさい学校児童によるソーラン節、ジュニアリーダーによるレクリエーション、プロ大道芸 他



【担当課】 地域教育課 ☎5654-8482

## 子どもつり大会 (噴水広場前)

午前9時～正午

【対象】 中学生以下のお子さん  
 【内容】 釣りの楽しさとマナーを学べます。釣りざおは無料で貸し出します(先着250人。1家族で中学生以下のお子さん2人まで)。  
 【担当課】 観光課 ☎3838-5558

### プラネタリウム放映時刻(放映時間は1時間程度)

	午前11時30分	午後1時	午後2時30分	午後4時	午後5時30分
月～金曜日	(学校・団体利用)			季節の番組	-
土曜日	こども番組	季節の番組	アンコールアワー	季節の番組	アンコールアワー
日曜日・祝日	こども番組	季節の番組	アンコールアワー	季節の番組	-
学校休業中の月～金曜日	-	季節の番組	アンコールアワー	季節の番組	-

※アンコールアワーでは過去の人気番組を再上映します。午後2時30分と午後5時30分で内容が異なります。

4月25日(土)から、放映時間が変わります

### プラネタリウム

新番組「シンフォニー・オブ・ユニバース第7巻『光のコンチェルト』」

クラシックの名曲とプラネタリウムの映像が一体となった郷土と天文の博物館オリジナルの番組です。

【日時】 4月25日(土)～7月12日(日)上表「季節の番組」で放映

【会場】 郷土と天文の博物館

【費用】 大人450円、小・中学生150円、幼児50円(土曜日は中学生以下無料)

【日時】 5月1日(金)午後

ジャズピアノの生演奏と満天の星を楽しめます。

## 郷土と天文の博物館コーナー

【担当課】 〒125-0063 白鳥3-25-1 郷土と天文の博物館 ☎(3838)11001

7時～7時25分。直接会場へ(先着順)。

【対象】 郷土と天文の博物館小学生以上の方165人

【費用】 大人100円、小・中学生50円

【大英博物館展】 100のモノが語る世界の歴史

【関連文化講演会】

4月18日(土)～6月28日(日)に東京都美術館で開催する大英博物館展に関する講演会です。受講者には大英博物館展招待券を差し上げます(一人1枚)。

【日時】 5月16日(土)午後2時～3時30分 定員150人 水田有子氏(東京都美術館)

凡例  
 日時 会場 対象 定員 内容 講師 費用 持ち物  
 保育 他その他 方申込方法 申 申込先 問問い合わせ先 担担当課

このマークのあるものは、パソコン・携帯電話から電子申請で申し込みができます(一部、携帯電話からは申請できないものがあります)。  
 「全〇回」とある講座は、全ての日程に参加してください。費用の記載がない事業は無料です。多数抽選の記載がある事業は、定員を超えた場合抽選します。ハガキ、ファクスによる申し込みは原則1人1枚です。詳しくは区ホームページをご覧ください。

### ホームドアの設計に着手します

## 平成30年度末の完成予定 新小岩駅南北自由通路の工事を進めています

工事によってバリアフリー化が進み、安全性や快適性が向上します。  
 ▷通路のスロープは利用しやすい勾配とします  
 ▷駅構内にエレベーター2基を新設します

【平成27年度の主な工事】  
 ▷線路を仮に支える工事桁架設工事  
 ▷線路下掘削工事  
 【担当課】 街づくり推進課 ☎5654-8536



▲完成イメージ図

平成27年3月24日(火)東日本旅客鉄道株式会社が発表!  
 南北自由通路工事に併せ、快速線ホームへのホームドア導入に向けた設計に着手します。

広告 内容については広告主にお問い合わせください。

## 一般社団法人 葛飾区医師会 訪問看護ステーション/指定居宅介護支援事業所

～在宅での生活が、安心してお過ごしいただけるようお手伝いいたします～

◆訪問看護  
 365日24時間体制で、看護師が地域の医療機関の医師と連携を取ります。  
 ◆ケアマネジャー  
 医療知識の豊富なケアマネジャーが、医師・看護師と連携を取り、介護保険でのプランを作成いたします。

まずはご相談ください。 **03-5670-8100**  
 (午前9時～午後5時まで)

葛飾区医師会 葛飾区立石5-15-12 Tel.03-3691-8536

## かつしかの暮らしと文化

### 桜花散ってもこいのぼり舞う水元公園

5月になると水元公園ではこいのぼりが空を舞います。小合溜の水面に映し出され、あたかも水を得て泳いでいるかのような鯉のぼりは、水元公園ならではの風物詩の一つとなっています。

さて、水元公園の小合溜は、享保14年(1729年)に江戸幕府が灌漑用に整備した溜井で、水元公園が水郷公園とも呼ばれる由縁となっている存在です。十方庵敬順は文化3年(1806年)3月12日に

小合溜を訪れ、「遊歴雑記」に「葛飾郡小合の溜小向の渡口眺望(四編之上 拾八)と題して当時の様子を書き留めています。敬順いわく「方言に溜といへり。本来は小合溜井(こあいだめい)と呼ぶのが正式ですが、江戸時代から地元では縮めて「小合溜(こあいだめ)と呼んでいる」と記述しています。また、「魚鳥夥しく此溜に栖かゆへに、漁翁を業として渡世するもの多し、江戸方も釣を好人八土地に止宿し

て、此溜にあそぶ少なからず」と、小合溜に多くいる魚や鳥を獲って生活している人が多く、泊まりがけで釣り人が訪れる所であったと書かれています。さらに「此溜の風景天然にして面白く、若葭などの中に八行女子のくぜり、又八空に舞、雲雀の声迄優に珍らしく、或ハ遅桜の茂林の間が満花せし風情いかんともいひかたし」と、ヨシキリがさえずり舞い、ヒバリの鳴き声も珍しく、遅咲きの桜花ほころぶ小合溜の風情が素晴らしいと評しています。



水元公園の空を舞うこいのぼり